【がん種】 乳癌
【レジメン名】 classical CMF
【登録番号】 100102
【1コースの期間】 4週間
【総コース数】 術後補助：6コースまで
【催吐性リスク】 中等度：classical CMF
【抗がん剤の組織障害性】 イリタント（炎症性）：5-FU、ノンビシカント（非壊死性）：メソトレキセート
【投与量に制限のある薬剤】 なし
【主な有害事象】 白血球減少、好中球数減少、貧血、血小板数減少、クレアチニン増加、疲労、間質性肺炎、悪心、嘔吐、食欲不振、口腔粘膜炎、味覚異常、下痢、便秘、脱毛、出血性膀胱炎

【必要な検査】 編集中
【根拠論文】 J Clin Oncol 19:3103-3110, 2001. J Clin Oncol 16:2651-2658, 1998. J Clin Oncol 23:5166-5170, 2005. J Clin Oncol 27:1368-1374, 2009. Br J Cancer 101:598-604, 2009.

【点滴の時間】 [day1, 15]1時間55分
【費用】 編集中
【その他】 -

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日									
					1	2	3	…	14	15	16	17	…	28
1	生理食塩液 250mL	1 B	メイン	キープ＆フラッシュ	○					○				
2	グラニセトロン点滴静注液バッグ 3mg/100mL	1 B	側管	30分	○					○				
	デカドロン注射液 1.65mg/0.5mL	2 A												
	デカドロン注射液 6.6mg/2mL	1 V												
3	生理食塩液 50mL	1 B	側管	15分	○					○				
	注射用メソトレキセート	40 mg/m2												
4	生理食塩液 100mL	1 B	側管	全開	○					○				
	5-FU注	600 mg/m2												
5	エンドキサン錠	100 mg/m2/回	内服	1日1回朝食後	○	○	○	○	○					
	朝食後に服用できない場合には可能な限り早い時間に服用													
6	デカドロン錠 4mg	1 錠/回	内服	1日2回朝昼食後		○	○				○	○		